

平成 29 年度 学内推薦入学試験

【教育に関する小論文】

- ◆ 以下に示す A, B の二つの課題に答えなさい。
別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】を論述すること。

【課題 A】

道徳の時間が「特別の教科 道徳」に変更され、平成 30 年度より実施される。このことをふまえ、各教科・領域等における道徳教育のあり方について、〈国語・社会・算数（数学）・理科・英語・音楽・図工（美術）・技術・家庭・体育・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動〉のうちから一つの教科または領域を選んで述べなさい。



【課題 B】の設問は裏面

【課題B】

現在、障がいのある児童生徒の教育について、「インクルーシブ教育」の重要性が指摘されています。しかし、学校教育の現場では取り組みが追いつかないケースも多く、教師たちの中には、「特別支援学校（学級）に行った方が、その児童生徒の成長につながるのではないか」という声も聞かれます。このことについて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 下線のような意見が出る背景として、現在の学校現場で「インクルーシブ教育」をすすめる上で、どのような困難や課題があると推察されるか、簡潔に述べなさい。
- (2) 充実した「インクルーシブ教育」を実践するためには、通常学級の担任教師としてどのような取り組みが重要だと考えますか。ポイントをいくつかあげ、簡潔に述べなさい。

平成 29 年度 A 日程入学試験

【教育に関する小論文】

- ◆ 以下に示す A、B の二つの課題に答えなさい。
別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】
を論述すること。

【課題 A】

平成 28 年 7 月 19 日に出された「中央教育審議会教育課程部会資料 2」には、「学習指導要領改訂の方向性（案）」として「何ができるようになるか」・「何を学ぶか」・「どのように学ぶか」という 3 つの視点があり、「どのように学ぶか」の方向性として「主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）」を提唱している。このことをどのように受け止め、どのように具体化しようと考えているか。各教科・領域等における「主体的・対話的で深い学び」のあり方について、〈国語・社会・算数（数学）・理科・英語・音楽・図工（美術）・技術・家庭・体育・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動〉のうちから 1 つの教科または領域を選んで述べなさい。

裏面に【課題 B】

【問題B】

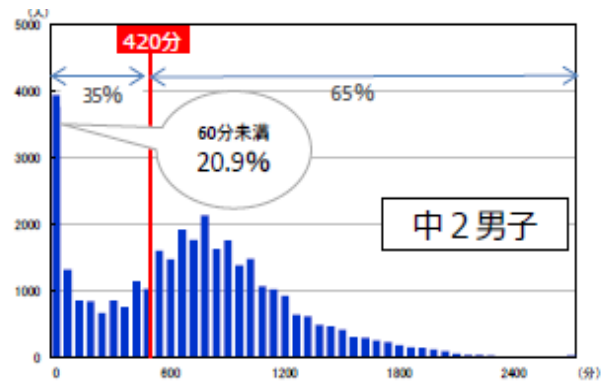
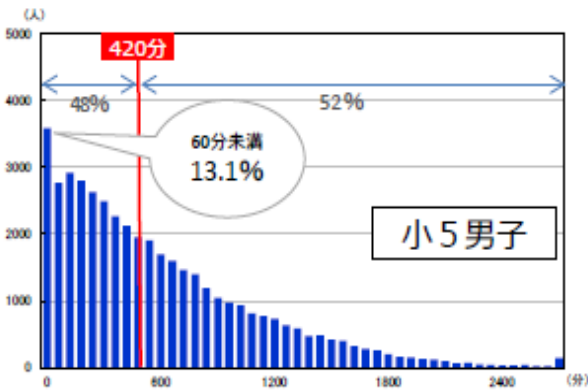
次の資料は、「平成27年度東京都児童生徒・体力・運動能力、生活・運動能力等の調査結果」の一部である。

- (1) ①②③の調査結果に関するグラフが示していることをそれぞれ簡潔に述べなさい。
- (2) 児童・生徒の健康増進や体力向上を図るとともに、積極的に運動やスポーツに親しみ、心身の調和的な発達を遂げることができるようにするために、小学校の教員としてどのような取り組みが必要か。調査結果をふまえてあなたの考えをできるだけ具体的に述べなさい。

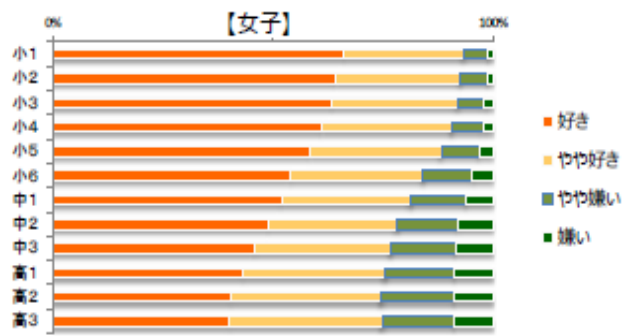
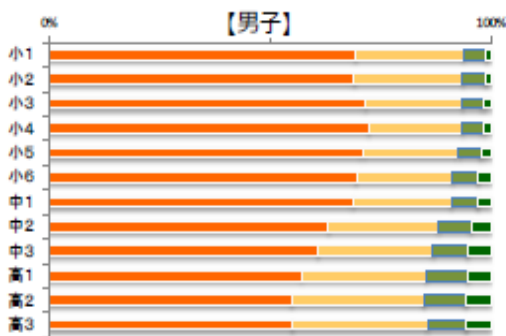
生活・運動習慣の状況

① 一週間の総運動時間

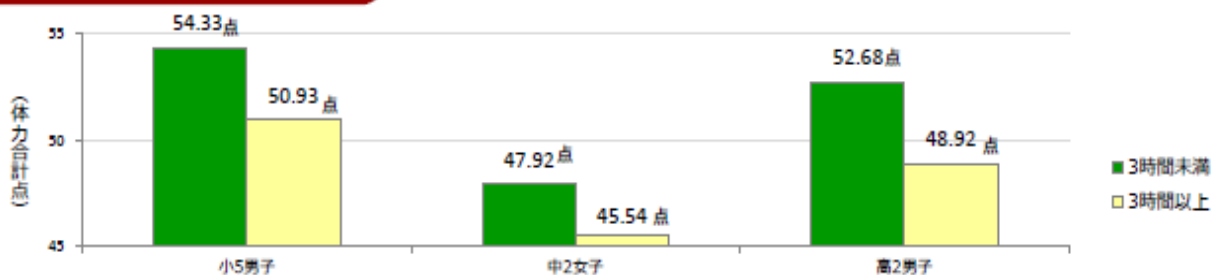
●一週間の総運動時間の目標値420分 (60分×7日)



② 運動・スポーツの意識



③ 携帯電話と体力の相関



平成 29 年度 B 日程入学試験

【教育に関する小論文】

◆ 以下に示す A、B の二つの課題に答えなさい。

別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】を論述すること。

【課題 A】

現行の学習指導要領では「言語活動の充実」が大きな柱となっている。このことをどのように具体化しようと考えているか。各教科・領域等における「言語活動の充実」のあり方について、〈社会・算数（数学）・理科・生活・英語・音楽・図工（美術）・技術・家庭・体育・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動〉のうちから 1 つの教科または領域を選んで述べなさい。

【課題 B】

現在、日本の教育において「キャリア教育」の充実が求められています。このことについて、以下の質問に答えなさい。

- (1) 「キャリア教育」が必要とされている背景について、簡潔に述べなさい。
- (2) 小学校段階で行う「キャリア教育」では、どのような力を育成し、どのような取り組みをすることが望ましいのか、あなたの考えを述べなさい。